



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 フォースタートアップス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7089 URL <https://forstartups.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 志水 雄一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼コーポレート本部長 (氏名) 菊池 烈 TEL 03-6893-0650  
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社HPに掲載）  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,443	10.7	257	△47.1	266	△45.5	235	△31.8
2023年3月期第3四半期	2,206	35.2	487	38.3	488	37.3	345	37.8

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 104百万円（△68.2%） 2023年3月期第3四半期 327百万円（31.9%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	66.26	64.65
2023年3月期第3四半期	97.50	94.77

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,815	2,326	71.8
2023年3月期	2,969	2,190	59.5

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 2,021百万円 2023年3月期 1,767百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	10.0	370	△36.8	370	△37.0	340	△23.1	95.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	3,635,000株	2023年3月期	3,546,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	156株	2023年3月期	156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,556,767株	2023年3月期3Q	3,545,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は、2024年2月6日に決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「(共に) 進化の中心へ」をミッションに、「for Startups」をビジョンに掲げ、成長産業支援として「タレントエージェンシー」、「オープンイノベーション」の2つのサービスのほか、「タレントエージェンシー」とのシナジーを創出し、当社グループが定義する成長産業支援をより強固なものとするため、「ベンチャーキャピタル事業」を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるスタートアップ業界を取り巻く環境は、2022年に岸田首相による「スタートアップ創出元年」の宣言があり、2022年11月末に内閣官房より『スタートアップ育成5か年計画』が公表されました。また、2023年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2023(骨太の方針)」にて2年連続で「スタートアップ」が明記され、官民を挙げたスタートアップ支援の取り組みが年々強化されてきております。

一方で、米国をはじめとする主要国の金融市場の引き締めや、シリコンバレー銀行の破綻等を受けたりセッション懸念から、米国のスタートアップの資金調達額が大きく下落いたしました。米国の状況を受け、日本のスタートアップの資金調達額も前年同期比で約3割減(参照: STARTUP DB)となっております。引き続き不透明な経済環境及び事業環境の注視が必要であります。スタートアップ政策を受け中長期的には市場が拡大するものと捉えております。

このような環境の下、当社グループが行う成長産業支援事業は、当社グループがもつ情報やノウハウをベースに、スタートアップ企業に対しての人材紹介並びに産官学を巻き込んだスタートアップ関連サービスを展開しております。

各セグメント及びサービス別の経営環境及び経営成績は次のとおりであります。

#### (タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業)

##### ・タレントエージェンシーサービス

タレントエージェンシーサービスは、スタートアップ・成長企業向けに人材紹介を中心とした人材支援サービスを提供しております。当社の人材紹介サービスでは、転職者が、当社が紹介した企業からの内定・オファーに承諾し、入社日が決定したタイミングで成功報酬額を受注高として計上し、入社日に売上高を計上しております。転職者によって個人差はあるものの、受注と売上のタイムラグは約2~3ヶ月のケースが多いため、当社では、前四半期の受注高の状況が当四半期の売上高に影響するものと捉えております。

当第3四半期連結累計期間における人材紹介サービスは、スタートアップ市場の逆風の中でも継続的に需要が高い経営幹部候補人材やエンジニア人材といった希少なポジションの人材を着実に支援できたことで、高年収帯での成約割合は高い状況にあり、高単価を維持いたしました。コンサルティングサービスは、前四半期からは下がったものの継続的にニーズを獲得し当初計画を上回る水準で推移いたしました。

また、スタートアップ企業のエグゼクティブ領域の人材支援サービス強化を目的として、100%子会社のシングレス株式会社を設立いたしました。今後収益が発生した場合には、タレントエージェンシーサービスとして開示いたします。

この結果、タレントエージェンシーサービスの売上高は2,132,797千円(前年同期比6.6%増)となりました。

##### ・オープンイノベーションサービス

オープンイノベーションサービスは、当社グループが運営するデータベース「STARTUP DB」の大手企業向け有料会員サービス、官公庁・自治体におけるスタートアップ関連事業を受託して産学官の連携を支援する「Public Affairs」、大手企業とスタートアップ企業の提携を推進する「資金調達支援」といった、スタートアップ・エコシステムの構築を推進する各種サービスを提供しております。「STARTUP DB」の利用者獲得や、11月16日に渋谷ヒカリエで開催したカンファレンス「成長産業カンファレンス2023(GROWTH INDUSTRY CONFERENCE 2023)」におけるイベントパートナーの獲得が順調に進捗いたしました。「Public Affairs」につきましては、「福岡市スタートアップ支援施設運営事業」事業者に採択されるなど、新たな活動が進んでおります。以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるオープンイノベーションサービスの売上高は310,448千円(前年同期比50.4%増)となりました。

コスト面では、前年同期末比で社員数が36名増加したことにより、人件費が増加しております。さらに、当社グループは、2023年11月7日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。これに伴い、移転後利用見込のない有形固定資産について耐用年数の見積りの変更を行っております。また、不動産賃貸借契約に基づく原状回復費用について、敷金のうち回収が最終的に見込めないと認められる金額及び償却期間の変更を行っております。これにより、従来の方法に比べて当第3四半期連結累計期間の販管費及び一般管理費は26,431千円増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は2,443,246千円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は399,903千円（前年同期比18.8%減）となりました。

（ベンチャーキャピタル事業）

当セグメントには、子会社であるフォースタートアップスキャピタル合同会社、及び同社を通じて組成したフォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が含まれております。

当第3四半期連結累計期間においては、フォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が保有する非上場株式について、超過収益力を反映した実質価額が取得価額に比べて著しく低下したため、営業投資有価証券評価損として136,343千円を売上原価に計上いたしました。また、前連結会計年度に引き続き発生している管理費用を含めて、セグメント損失は142,108千円（前年同期は5,339千円の損失）となりました。

さらに、当第3四半期連結会計期間において、新たに株式会社ナレッジワークへの出資を行い、投資先企業は計6社となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,443,246千円（前年同期比10.7%増）、営業利益は257,794千円（前年同期比47.1%減）、経常利益は266,495千円（前年同期比45.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は235,668千円（前年同期比31.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)	対前期増減
資産（※1）	2,969,798	2,815,493	△154,304
負債（※2）	779,327	489,003	△290,324
（うち、有利子負債）	66,674	12,500	△54,174
純資産（※3）	2,190,470	2,326,490	136,019

主な対前期増減の内容

（※1）現金及び預金（△318,005千円）、営業投資有価証券（△136,293千円）、敷金及び保証金（292,336千円）

（※2）未払金（△228,897千円）、1年内返済予定の長期借入金（△54,174千円）

（※3）利益剰余金（235,668千円）、非支配株主持分（△129,087千円）

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2024年1月19日付で公表した通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,745,270	1,427,264
売掛金	331,195	310,962
営業投資有価証券	463,408	327,115
その他	27,648	110,645
貸倒引当金	—	△1,220
流動資産合計	2,567,522	2,174,768
固定資産		
有形固定資産	123,336	96,827
無形固定資産	68	27
投資その他の資産		
敷金及び保証金	146,261	438,598
その他	132,609	109,286
貸倒引当金	—	△4,015
投資その他の資産合計	278,871	543,870
固定資産合計	402,276	640,725
資産合計	2,969,798	2,815,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	426,509	197,611
1年内返済予定の長期借入金	66,674	12,500
未払法人税等	2,607	2,636
未払消費税等	52,979	23,037
賞与引当金	94,296	47,929
本社移転損失引当金	—	31,085
その他	136,261	174,203
流動負債合計	779,327	489,003
負債合計	779,327	489,003
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	226,446	236,817
資本剰余金	226,763	237,134
利益剰余金	1,311,752	1,547,421
自己株式	△540	△540
株主資本合計	1,764,422	2,020,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,228	692
その他の包括利益累計額合計	3,228	692
新株予約権	17,415	28,647
非支配株主持分	405,404	276,317
純資産合計	2,190,470	2,326,490
負債純資産合計	2,969,798	2,815,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,206,624	2,443,246
売上原価	387,024	525,085
売上総利益	1,819,600	1,918,160
販売費及び一般管理費	1,332,315	1,660,365
営業利益	487,284	257,794
営業外収益		
受取利息	6	6
投資事業組合運用益	—	6,117
投資有価証券売却益	—	429
施設利用料	1,000	—
業務受託料	250	980
雑収入	2,067	1,525
営業外収益合計	3,324	9,059
営業外費用		
支払利息	598	169
投資事業組合運用損	1,101	—
その他	1	189
営業外費用合計	1,701	358
経常利益	488,907	266,495
特別損失		
本社移転損失引当金繰入額	—	31,085
特別損失合計	—	31,085
税金等調整前四半期純利益	488,907	235,410
法人税、住民税及び事業税	156,497	108,158
法人税等調整額	5,544	20,670
法人税等合計	162,041	128,828
四半期純利益	326,866	106,581
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,858	△129,087
親会社株主に帰属する四半期純利益	345,725	235,668

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	326,866	106,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	△2,536
その他の包括利益合計	362	△2,536
四半期包括利益	327,228	104,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,087	233,132
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,858	△129,087



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

当社グループは、2023年11月7日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。これに伴い、移転後利用見込みのない有形固定資産について耐用年数の見積りの変更を行っています。また、不動産賃貸借契約に基づく原状回復費用について、敷金のうち回収が最終的に見込めないと認められる金額及び償却期間の変更を行っています。

これにより、従来の方法に比べて当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ26,431千円減少しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したシングレス株式会社(設立日2023年7月19日)を連結範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業	ベンチャーキャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,206,624	—	2,206,624	2,206,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,206,624	—	2,206,624	2,206,624
セグメント利益又は損失(△)	492,623	△5,339	487,284	487,284

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業	ベンチャーキャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,443,246	—	2,443,246	2,443,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,443,246	—	2,443,246	2,443,246
セグメント利益又は損失(△)	399,903	△142,108	257,794	257,794

(注) 1. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 2023年7月19日付で新規設立し連結子会社としたシングレス株式会社は、「タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業」に含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。